



平成23年8月25日
環境局環境未来都市推進室
次長：香具(こうぐ) 係長：久保田
582-2238

電源開発㈱による「洋上風力発電システムの実証研究の実施」について

この度、北九州次世代エネルギーパークの参加企業である電源開発株式会社から、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）との共同研究事業として、北九州市若松区沖合にて、洋上風力発電システム技術の確立に向けた「洋上風力発電システム実証研究」を実施する旨の連絡がありましたので、お知らせします。

今回、沖合に設置される洋上風力発電システム実証の研究設備は、同パークのエリア内に設置される予定です。

添付資料

・「洋上風力発電システムの実証研究の実施について～北九州市沖合での洋上風車の実証研究開始～」

参考 北九州次世代エネルギーパークについて

「次世代エネルギーパーク」は、国民各層が新エネルギーを中心に日本のエネルギー問題への理解の増進を深めることを通じて、エネルギー政策の促進に寄与することを期待するものとして、経済産業省が次世代エネルギー設備や体験施設等を認定するものです。

北九州次世代エネルギーパークは、平成19年に他5箇所とともに第1号認定を受け、平成21年7月にオープンしました。同パークに認定された北九州市の北部、若松区響灘地区には、多種多様なエネルギー施設が集積しており、エネルギー施設を見学したり、エコタウンセンター別館内にある展示コーナーでエネルギーについて学んだりすることができます。

電源開発株式会社は、現在、同パークの参加企業として、九州最大級の太陽光発電設備である響灘太陽光発電所〔発電能力1,000kW〕、石炭の高効率利用を目指すEAGLE（多目的石炭ガス製造技術開発）を設置しています。

本案件は、電源開発㈱がエネルギー記者会（東京）へ同時投込みを行っています。

本件に関するお問合せについて
実証研究の内容に関する取材
電源開発㈱広報室
担当者： 中谷、星野
03-3546-2211（代表）
北九州次世代エネルギーパークに関する取材
環境局環境未来都市推進室
担当者： 次長：香具(こうぐ) 係長：久保田
093-582-2238

本件は、エネルギー記者会（東京）で発表しています。

平成 23 年 8 月 25 日

電源開発株式会社

洋上風力発電システムの実証研究の実施について ～北九州市沖合での洋上風車の実証研究開始～

電源開発株式会社（社長：北村雅良、以下「Jパワー」）は、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下「NEDO」）との共同研究事業として、福岡県北九州市の沖合にて、洋上風力発電システム技術の確立に向けた「洋上風力発電システム実証研究（以下、本研究）」を実施いたします。

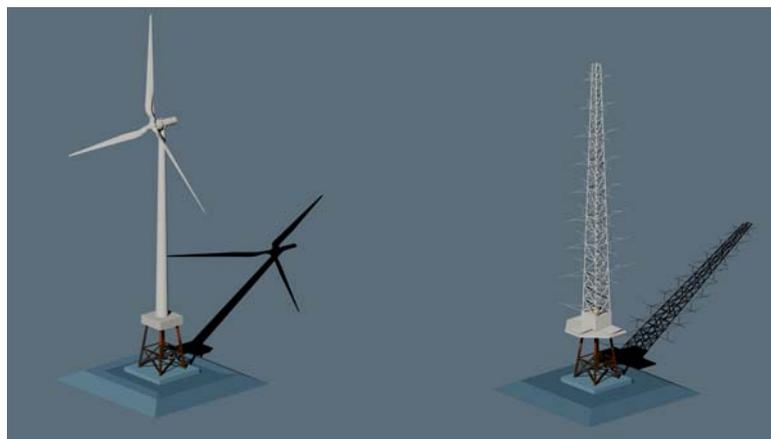
本研究は、平成 21 年 8 月より J パワーが行っている「洋上風況観測システム実証研究」（以下「観測システム」）の実施海域（北九州市沖合約 1.3 km、水深 14.5m）において、ローター直径約 83m の洋上風車を 1 基設置し、観測システムで得られる気象・海象等の観測データを活用しながら、着床式洋上発電設備の設計、施工、運転保守技術の開発と実証を行うとともに、当該設備が環境に与える影響について調査を行うものです。

研究期間は平成 23 年 8 月から平成 27 年 2 月で、今後、必要となる許認可や系統連系等の準備を進めていきます。

J パワーは、再生可能エネルギーの活用を積極的に推進しており、洋上風力発電の実用化に向けて研究に取り組んでいきます。

洋上風況観測システム実証研究

平成 21 年 8 月から平成 26 年 2 月にかけて、NEDO からの委託事業として、J パワーが独立行政法人港湾空港技術研究所、伊藤忠テクノソリューションズ株式会社と共同で実施しているもので、当該海域に洋上風況観測塔を設置し、風況、波浪等の気象・海象条件の把握など行う。



洋上風力発電設備(左)と洋上風況観測設備(右)のイメージ図

以 上

問い合わせ先
Jパワー 広報室 中谷、星野 TEL 03 - 3546 - 2211（代表）